

公共事業事前評価調書(平成28年度予算要望)

所管課: 海岸防災課

担当班: 海岸班

事業名	兼久海岸 海岸堤防等老朽化対策緊急事業		事業区分	海岸事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	嘉手納町兼久地先					
事業の諸元	事業延長: 158m 工法: 直立式堤防					
事業の概要	<p>当該海岸は沖縄本島嘉手納町に位置し、東シナ海に面している。当海岸背後には、ソフトボール場や多目的グラウンド、テニスコートを有し、町内最大級の公園である兼久海浜公園が整備されている。</p> <p>現状の海岸保全施設は、復帰前の琉球政府時代に築造された直立式堤防が整備されているが、築造後40年余を経過しており、老朽化によるコンクリートのひび割れ等の劣化が顕著にみられる。</p> <p>堤防の防護機能の低下が進行し、高潮時には背後地の浸水被害が想定されることから、海岸堤防等老朽化対策緊急事業により、海岸保全施設の回復及び天端高さ嵩上げによる防護機能の強化を図り、背後地の人命・財産を防護する。</p>					
事業の必要性・効果等	<p>【必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設堤防は、本土復帰前(琉球政府時代)に築造されたものであり、平成25年度に実施した老朽化点検においてAランク(最も悪い評価)と評価され、緊急に対策工事の実施を検討する必要がある。 ・既設堤防は築造後40年余り経過していることから、現行の設計基準で照査したところ天端高さが不足しており、高潮時には越波被害が生じる恐れがある。 <p>【効果】</p> <p>防護水準を満足しておらず、また、老朽化により更に機能が低下する恐れのある海岸保全施設を改修することにより、防護機能が強化・回復され、荒天時の高潮・波浪等から県民の生命・財産が守られる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 28 年度		完了(予定)	平成 31 年度	
全体事業費	2.3	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
費用対効果	B/C	総便益: B	4.6	(億円)	総費用: C	2.3
	=					基準年
	2.0	① 高潮防護便益4.6億円		① 事業費 2.1億円		平成 26年度
		②		② 維持管理費 0.2億円		
		③		③		
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>・21世紀ビジョン実施計画の施策展開「災害に強い県土づくりと防災体制の強化」に位置づけられている。</p> <p>・琉球諸島沿岸海岸保全基本計画において整備計画に位置付けられている。</p>					
環境への配慮	海岸環境への影響に配慮し、床掘・掘削等が極力生じない整備を実施する。					
関係する地方公共団体等の意見	平成17年8月10日付け嘉手納町長より、中部土木事務所長あてに要望があり。					
概要図(位置図)	 					